

平成 30 年 2 月 5 日

回転式破碎混合工法研究会

回転式破碎混合工法 技術・積算資料 改訂のお知らせ

記

回転式破碎混合工法の技術・積算資料の以下の朱書き箇所を改訂しましたので、お知らせします。

1. 改訂箇所

2. 3 規格一覧 表 2.2 回転式破碎混合装置の規格と諸元 P15

「改訂前」

機械名：TM2250 処理能力(混合時)：600~800m³/日 保有数：6

機械名：TM1500 処理能力(混合時)：360~400m³/日 保有数：8



「改訂後」

機械名：TM2250 処理能力(混合時)：**550**~800m³/日 保有数：**8**

機械名：TM1500 処理能力(混合時)：**280**~400m³/日 保有数：8

5. 6 混合費 (1) 日当り施工量 P53

「改訂前」

規格：TM2250 仕様：1 材 1 添加 施工量：600m³

規格：TM1500 仕様：1 材 1 添加 施工量：360m³



「改訂後」

規格：TM2250 仕様：1 材 1 添加 施工量：**550m³**

規格：TM1500 仕様：1 材 1 添加 施工量：**280m³**

5. 8 共通仮設費 (5) プラント運搬費 P62

「改訂前」

※運搬距離は、以下のプラント基地のうち最も近い箇所からの距離を計上する。

プラント基地：①神奈川県愛川町、②千葉県佐倉市、②大阪府高槻市、③鹿児島県始良市、④
北海道苫小牧市



「改訂後」

※運搬距離は、以下のプラント基地に在場の規格のうち最も近い箇所からの距離を計上する。

プラント基地及び在場プラント規格：

- ①茨城県つくば市(TM2250×4, TM1500×3, TMSP1500×1)、②千葉県佐倉市(TM1500×3)、
- ③大阪府高槻市(TM1500×1)、④鹿児島県始良市(TM1500×1)、
- ⑤北海道苫小牧市(TM2250×2)

2. 問合せ先

回転式破碎混合工法研究会事務局

E-mail : info_tw@twister-grp.com

TEL:03-5410-5755 FAX:03-5410-5808

以上

回 轉 式 破 碎 混 合 工 法



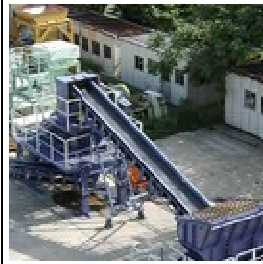

技 術 ・ 積 算 資 料

平 成 30 年 2 月 版

回 轉 式 破 碎 混 合 工 法 研 究 会

回転式破碎混合装置の規格と諸元を表 2. 2 に示す。なお、TM2250、TM1500、TMSP1500 を本資料の標記対象とし、TM1000、HANZO は参考資料として記載する。

表 2. 2 回転式破碎混合装置の規格と諸元

		TM2250	TM1500	TMSP1500	TM1000	HANZO
機械名						
本体直径		φ2,250mm	φ1,500mm	φ1,500mm	φ1,000mm	φ1,000mm
処理能力	混合時	550～800m ³ /日	280～400m ³ /日	260～300m ³ /日	135～190m ³ /日	80～110m ³ /日
	破碎・混合時	300～530m ³ /日	180～260m ³ /日	130～200m ³ /日	60～130m ³ /日	50～90m ³ /日
コスト	混合処理費	◎低い	基準	△やや高い	△やや高い	△やや高い
	設備費	△やや高い	基準	◎低い	○やや低い	◎低い
	運搬費	△やや高い	基準	◎低い	○やや低い	◎低い
	トータルコスト (コスト順位)	○やや低い (1)	- (2)	△やや高い (3)	△やや高い (4)	△やや高い (5)
保有数		8	8	1	2	2
備考		大規模施工現場向き 定置式	中規模施工現場向き 定置式	小規模施工現場向き 自走式	小規模施工現場向き 定置式	小規模施工現場向き 車載型

※ 1 TM1500 を基準としての評価である。

※ 2 処理量は分別機等の使用設備による機械構成と土砂性状により変動する。

※ 3 稼働時間は 5.5 hr / 日 である。

5. 6 混合費

(1) 日当り施工量

回転式破碎混合工法による作業の日当り施工量は、表5.2を標準とする。

表 5.2 日当り施工量

(1日 5.5h 当り)

規 格	仕 様	施工量 (m ³)
TM2250	3材	800
	2材	
	2材1添加	
	1材1添加	
TM1500	3材	400
	2材	
	2材1添加	
	2材1添加1ﾌﾙｲ	360
	1材1添加	280
	1材1添加1ﾌﾙｲ	360
TMSP1500	2材1添加	300
	1材1添加	260

(注) 表5.1の施工量は、1日5.5時間、1月に20日間稼働することが条件で、現場条件により適当でない場合は、1日平均の施工量を算出し、それを日当り施工量とすること。

(2) 労務

回転式破碎混合工法のプラント運転に係る労務は、表5.3を標準とする。

表 5.3 労務

(運転日 1日当り)

機種	仕 様	労 務		
		世話役 人	特殊作業員 人	普通作業員 人
TM2250	3材	1	1	3
	2材	1	1	2
	2材1添加	1	2	2
	1材1添加	1	2	2
TM1500	3材	1	1	3
	2材	1	1	2
	2材1添加	1	1	2
	2材1添加ﾌﾙｲ	1	2	2
	1材1添加	1	1	2
	1材1添加ﾌﾙｲ	1	2	2
TMSP1500	2材1添加	1	1	2
	1材1添加	1	1	1

(4) プラント設備工

回転式破碎混合工法のプラント設備は、主に操作盤、操作パネル、プラント監視システム等の操作室として使用し、2.4m×5.6m 3連棟のユニットハウスを基本とし、表5.22の単価表を標準とする。

表 5.22 プラント設備 単価表
(プラント 1set 当り)

名称	単位	数量 2.4×5.6m 3連棟
損料	棟・日	
建方費 ・解体費	式	1

(5) プラント運搬費

回転式破碎混合工法のプラント運搬車両・台数は、表5.23を標準とする。

表 5.23 プラント運搬車両台数表

(プラント 1set 当り)

規格	仕様	単位	積載量30t 低床トレーラー	積載量20t 低床トレーラー	積載量14t 低床トラック	積載量10t 低床・普通トラック
TM2250	3材	台		1		12
	2材	〃		1		9
	2材1添加	〃		1		10
	1材1添加	〃		1		10
TM1500	3材	〃			1	11
	2材	〃			1	8
	2材1添加	〃			1	9
	2材1添加1ﾌﾙｲ	〃			1	14
	1材1添加	〃			1	6
	1材1添加1ﾌﾙｲ	〃			1	11
TMSP1500	2材1添加	〃	1			3
	1材1添加	〃	1			1

※投入用バックホウ、発動発電機、エンジンコンプレッサ、移動式サイロの運搬費は含みません。

※プラント基礎の敷き鉄板運搬費、プラント設備のユニットハウス運搬費は含みません。

※運搬距離は、以下のプラント基地に在場の規格のうち最も近い箇所からの距離を計上する。

プラント基地及び在場プラント規格：

- ①茨城県つくば市(TM2250×4, TM1500×3, TMSP1500×1)、②千葉県佐倉市(TM1500×3)、
- ③大阪府高槻市(TM1500×1)、④鹿児島県姶良市(TM1500×1)、
- ⑤北海道苫小牧市(TM2250×2)